



広島電鉄株式会社

電車開業100周年記念事業実施のお知らせ

■ ■ 概 要 ■ ■

広電グループは、平成 24 年 11 月 23 日、電車開業 100 周年を迎えます。
お客様をはじめとして、関係の皆様へ感謝をこめて、以下の通り開業 100 周年記念事業を行います。
内容の詳細および現在検討中の企画や変更等につきましては、今後決まり次第、当社グループホームページ等でお知らせしていく予定です。

【主な記念事業予定】

1. 電車開業 100 周年記念ロゴマークおよびキャッチフレーズの制定（※ デザイン・解説は別紙）

開業からこれまでの 100 年間のご支援に対して感謝の気持ちを込め、100 周年記念ロゴマークとキャッチフレーズを制定しました。
制定にあたっては、広電グループ役職員・家族から原案を募集し、応募作品をもとに決定しております。
ロゴマーク等は、電車のヘッドマーク、バスの前面幕により車両に掲出するほか、100 周年記念イベントなどで、統一して使用してまいります。
（ヘッドマーク・前面幕の掲出は、平成 24 年 5 月 12 日以降行っていきます）

2. 100 周年記念 特設ウェブサイトの開設（5 月）

広電グループホームページ（ひろでんアベニュー）内に、特設ウェブサイトを開設いたします。100 周年に関する情報発信ページとして、トップメッセージのほか、各種イベントの紹介、広島電鉄の歴史などを紹介いたします。

◆広島電鉄 100 周年記念ウェブサイト

URL <http://www.hiroden.co.jp/100th/>

※ 「ひろでんアベニュー」トップページ（<http://www.hiroden.co.jp>）からも、記念ウェブサイトへ入ることができます。

3. 路面電車まっりの開催（6 月）

毎年恒例の「路面電車まつり」を平成 24 年 6 月 10 日(日)に開催いたします。
（※まつりの詳細は、決定し次第ホームページ等で発表いたします）

◆第 17 回 路面電車まつり

日 時 平成 24 年 6 月 10 日（日）10:00～16:00 ※雨天決行

会 場 広島電鉄 千田車庫（広島市中区東千田町）

主 催 路面電車まつり実行委員会

4. 記念配当の実施（6月）

電車開業 100 周年、会社設立 70 周年を迎え、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表するため、平成 24 年 3 月期の期末配当に記念配当として 1 株当たり 1 円 00 銭を加えて、合計 3 円 50 銭の配当を予定しております。

（平成 24 年 3 月 5 日東証適時開示「平成 24 年 3 月期配当予想の修正（記念配当）に関するお知らせ」のとおり）

5. ドルトムント電車を移設してカフェをオープン（7月）

昭和 56 年（1981 年）にドイツ・ドルトムント市から当社が輸入し、お客様に「ドルトムント電車」という愛称で長年親しまれてきた電車（1959 年製）が、このたび現役を引退し、マダムジョイ千田店（広島市中区東千田町）前に移設しリニューアル。ヨーロッパの雰囲気漂う車内に、購入した軽食を持ち込み召し上がっていただくことのできるイートイン スペースとして生まれ変わります。

6. 広電電車 100 周年 夏休みイベント 「サンリオわくわくランド（仮称）」の共催（8月）

100 周年を記念して、当社電車をテーマ・モチーフにした、お子様から大人の方まで多くの皆様になじみの深い“サンリオ”キャラクターのアトラクションやゲーム満載のイベントを夏休み期間中に、そごう広島店で開催します。

◆広電電車 100 周年 2012 夏休みイベント「サンリオわくわくランド（仮称）」

期 間 平成 24 年 8 月 2 日（木）～8 月 15 日（水）

会 場 そごう広島店 本館 9 階 特設会場（広島市中区基町）

主 催 そごう広島店（株式会社そごう・西武）、広島電鉄株式会社

7. 広島交響楽団 広電電車開業 100 周年記念コンサートの開催（9月）

日本を代表する指揮者であり、熱烈な鉄道ファンとしても知られる秋山 和慶氏（広響音楽監督・常任指揮者）の指揮、広島交響楽団の演奏によるオーケストラ・コンサートを開催します。世界の鉄道や電車にちなんだ曲目を中心に、お子様から大人の方までご家族で楽しんでいただけるプログラムを企画しております。抽選により、地域の皆さまをご招待する予定です。

◆秋山和慶が贈る 音楽でめぐる列車世界旅行

オーケストラ・コンサート（仮称）

日 時 平成 24 年 9 月 2 日（日）15:00～

会 場 広島国際会議場 フェニックスホール（広島市中区中島町）

8. ひろしま美術館『上田宗箇 武将茶人の世界展』にて再現展示された茶室の移設展示（9月）

平成 24 年 2 月から 3 月にかけて、ひろしま美術館『上田宗箇 武将茶人の世界展』において再現展示された、宗箇が広島城内上屋敷に設けた茶寮「和風堂」の茶室「遠鐘」と「鎖の間」を、広電本社内（中区東千田町）に移設します。秋口より、お茶にまつわる催事を開催したり、公開展示等を行いながら、多くの方に伝統文化に触れていただく機会を設けます。

9. 広電本社前電停のリニューアル（7～9月）

ドルトムント電車をマダムジョイ千田店前に移設してのカフェオープン、また、広電本社内での上田宗箇茶室の再現展示時期に合わせ、そのアクセスの中心となる広電本社前電停をリニューアルします。

10. 広島市郷土資料館 特別展「広島路面電車 100 年」の共催（10～12 月）

広島市郷土資料館で、戦前・戦中・戦後にわたり郷土 広島の歴史とともに歩んできた路面電車の歴史を振り返りながら、広島発展とあゆみについて紹介する展覧会を共催いたします。

◆特別展「広島路面電車 100 年」

日時 平成 24 年 10 月 20 日（土）～12 月 16 日（日）
会場 広島市郷土資料館 2 階講堂（広島市南区宇品御幸）
主催 財団法人広島市未来都市創造財団 広島市郷土資料館
共催 広島市公文書館、広島電鉄株式会社

11. 広島電鉄電車開業 100 周年記念社史の発行（11 月）

電車開業 100 周年を記念して、当社開業からの歴史を経営的観点で編集した社史を発刊いたします。学校や図書館、官公庁等のほかへの寄贈等を予定しております。

12. 平成 24 年 11 月 23 日 電車開業 100 周年記念日当日（11 月）

開業記念日当日は、記念式典のほか、新旧電車のパレードや復刻版の花電車等、楽しい企画を検討してまいります。詳細については決まり次第、発表してまいります。

13. 記念乗車券ほか各種記念グッズの販売（随時）

100 周年を記念して、記念乗車券や記念切手ほか、オリジナルグッズを企画制作・販売してまいります。

14. その他

以上の他、参加・応募型のイベント（コンテスト）等、100 周年記念事業に関して社内外から寄せられたアイデアを今後も引き続き検討し、随時新たな企画を盛り込んでまいります。どうぞご期待ください。

【ご参考】 広島電鉄 沿革（抜粋）

大正元（1912）年 11 月 23 日	広島電気軌道（当社前身）が電車市内線開業
大正 6（1917）年 8 月 2 日	広島瓦斯（株）と合併し、広島瓦斯電軌（株）となる
大正 11（1922）年 8 月 22 日	宮島線開業
昭和 13（1938）年 2 月 1 日	広島乗合自動車（株）を合併し自動車部を創設
昭和 17（1942）年 4 月 10 日	広島瓦斯電軌から分離し、広島電鉄（株）を創立
昭和 20（1945）年 8 月 6 日	原爆投下により甚大な被害 3 日後、一部区間で市内電車運行再開
昭和 33（1958）年 4 月 1 日	市内電車と宮島線の直通運転開始
昭和 44（1969）年 7 月 16 日	不動産部を創設し、不動産事業に本格参入
昭和 46（1971）年 12 月 1 日	公安委員会により軌道敷内自動車乗入れ禁止を実施
昭和 55（1980）年 12 月 10 日	軽快電車 3500 形営業運転開始
平成 11（1999）年 6 月 9 日	超低床車両グリーンムーバー 5000 形営業運転開始（ドイツから輸入）
平成 17（2005）年 3 月 30 日	初の国産完全超低床車両グリーンムーバー マックス 5100 形営業運転開始
平成 24（2012）年 2 月 17 日	広島トランヴェールビルディング竣工（中区紙屋町）
平成 24（2012）年 4 月 1 日	呉市交通局より路線バス事業を全面移管

■■■ お問合せ先 ■■■

広島電鉄株式会社 総管理グループ [担当：栗栖（くりす）・市川（いちかわ）]
電話 （082）242-3505・（082）242-3521

以 上

別 紙

広島電鉄 電車開業 100 周年記念統一キャッチフレーズ・ロゴマークについて

【キャッチフレーズ】

おかげさまで電車 100 年 これからも広島とともに

広島路面電車は、広島電鉄株式会社の前身である広島電気軌道株式会社によって、大正元年（1912 年）11 月 23 日に走り始めました。

それから 100 年。広島電鉄と広電グループの歴史は、常に広島街とともにありました。これまでの 100 年間に支えてくださった地域の皆さまへの感謝の気持ちと、これからも広島とともに歩み、地域の豊かな発展に貢献し続けるという決意をキャッチフレーズにこめています。

【ロゴマーク】



電車と歩むことのできた 100 年に感謝するとともに、新旧並んだ電車の顔はこれからの未来を示しています。電車は丸い車輪で走ります。丸は安心・快適を運ぶ、人と人を結ぶイメージを表現しています。

（キャッチフレーズ およびロゴマークデザインは、広電グループ役職員からの応募作を原案とし、決定いたしました。）

以 上